

授業科目名： 小学校教育課程総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：岡田裕 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>現代は「教育課程の時代」といわれている。小学校でのその理由について、教科書の学習を基礎として考え、学び、レポート作成を通じ、他人を納得させるように自分の言葉で説明できるようになる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>小学校指導要領の趣旨を踏まえて、「教育課程の時代」といわれている理由について、1；教育課程の意義、2；教育課程の内容と編成上のポイント、3；長期の指導計画と作成上のポイント、4；短期の指導計画と作成上のポイント、5；記録・反省・評価から再立案への順を追って、具体的に検討する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回 学校づくりとカリキュラム</p> <p>第2回 教育課程(カリキュラム)とは何か</p> <p>第3回 内容選択の基準（重要視するカリキュラム）</p> <p>第4回 カリキュラム構成の原理</p> <p>第5回 教育課程の編成主体と学習指導要領</p> <p>第6回 子どもの発達とカリキュラム</p> <p>第7回 教科書のあり方と生かし方</p> <p>第8回 カリキュラムと教育環境</p> <p>第9回 達成されたカリキュラム</p> <p>第10回 カリキュラム評価とは</p> <p>第11回 カリキュラムの履修スタイル</p> <p>第12回 教科のカリキュラム</p> <p>第13回 教科外カリキュラム</p> <p>第14回 近年のカリキュラム改革の動向</p> <p>第15回 全体の総括とまとめ～日本の教育課程の歴史、学習指導要領の変遷、諸外国のカリキュラム～</p>			
<p>テキスト：「よくわかる教育課程」 田中耕治著（ミネルヴァ書房）</p>			
<p>参考書・参考資料等：「小学校学習指導要領解説総則編」</p> <p><a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2009/06/16/1234931_001.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2009/06/16/1234931_001.pdf</a></p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>レポート14課題（2課題提出）</p>			